

環境活動レポート

2013年 5月 1日～2014年 4月30日

2013年度



For the beauty of the earth
For a dynamic and attractive society



日本化学機械製造株式会社

発行 2014年 6月30日（環境月間）

目 次

	ページ
目 次	1
環 境 方 針	2
組織の概要	3
事業概要・製品における環境配慮の促進	3 , 4
1. 主な環境負荷の実績	5 , 6 , 7 , 8
2. 環境目標及びその実績	9 , 10
3. 環境活動の評価	11 , 12 , 13 , 14
4. 活動事例 トピックス	15 ,
5. 代表者の見直し	16
6. 環境関連法規制等の順守状況	16
7. 創業75周年特別企画	17 , 18 , 19 , 20
お父さん・お母さんの会社のお話	



大阪府
つなみ ひなん
津波避難ビル



2013年4月 本社新社屋を
『津波避難ビル』に登録しました

環 境 方 針

私たち一人ひとは、社是に徹し当社の基本理念である
美しい地球 生き活きとした社会のために
経営方針の下、ここに環境方針を定め、行動することを宣言します。

社是 『誠心誠意』 『感謝の奉仕』

基本理念

*For the beauty of the earth
For a dynamic and attractive society*

美しい地球 生き活きとした社会
それらが調和し持続し発展するために
役立つ 技術 と 人材 を提供します



環境方針

全ての人々が健康に生き活きと生きる事ができる社会は、豊かな自然と健全な環境の上に成り立っています。

地球環境が保全され、限り有る資源と多様性に富む生物を将来に引き継いでいける持続可能な社会を構築するために、環境について考え、行動することは、21世紀を生きる人類のそして経済社会を営む企業の責務であると強く認識します。

私たち日本化学機械製造株式会社は、事業活動における環境負荷の低減を図るために、次の行動指針に定める環境保全活動を推進します。

〈環境保全への行動指針〉

1. 以下について、環境目標・活動計画を定めて、継続的な改善に努めます。
 - (1) 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量削減
 - (2) 節水推進
 - (3) 廃棄物排出抑制、リサイクルと適正処理の推進
 - (4) 環境に有害な化学物質使用量の削減と管理の推進
 - (5) 製品における環境配慮の促進
 - (6) グリーン購入の促進
2. 環境関連法規や当社が約束したことを順守します。
3. 環境への取り組みを活動レポートとして公表します。

制定日 2007年 12月 10日

見直日 2013年 5月 1日

日本化学機械製造株式会社

代表取締役社長

高 橋 正 一

組織の概要

事業者名

日本化学機械製造株式会社

代表取締役社長 高橋 正一
 全社環境管理責任者 取締役副社長 高橋 一雅
 全社環境事務局 海外プロジェクト推進室 中嶋 幹恵
 技術部 海瀬 卓也
 技術部 大橋 雅昭
 品質保証室 安藝 成伸
 製造部 福本 学
 製造部 新井 裕史
 南山田工場環境事務局 井上 幾雄
 泉 諭

サイトの概要

サイト	本社・工場	滋賀工場	南山田工場	東京営業所
環境管理責任者	取締役 高橋 一雅	執行役員 川畑 宏之	工場統括 浅野 宣男	所長 神尾 昌人
TEL	06-6308-3881	0748-75-2131	0748-72-3007	03-3567-8101
従業員数	163名	0名 ^{*1}	28名	6名
敷地面積	18,281㎡	27,229㎡	3,727㎡	
工場床面積	6,478㎡	5,024㎡	1,901㎡	
事務所等床面積	2,294㎡	0㎡	214㎡	賃貸事務所

^{*1}: P.14の3.3-4滋賀工場の項で報告します。

組織所在地
 本社・工場 大阪府大阪市淀川区加島4丁目6番23号
 滋賀工場 滋賀県湖南市大池町7番地1
 南山田工場 滋賀県湖南市岩根字南山田1622番5
 東京営業所 東京都中央区京橋1丁目6番12号（京橋イーサビル5階）

エコアクション21認証・登録番号：0002822

適用ガイドライン：エコアクション21ガイドライン2009年版

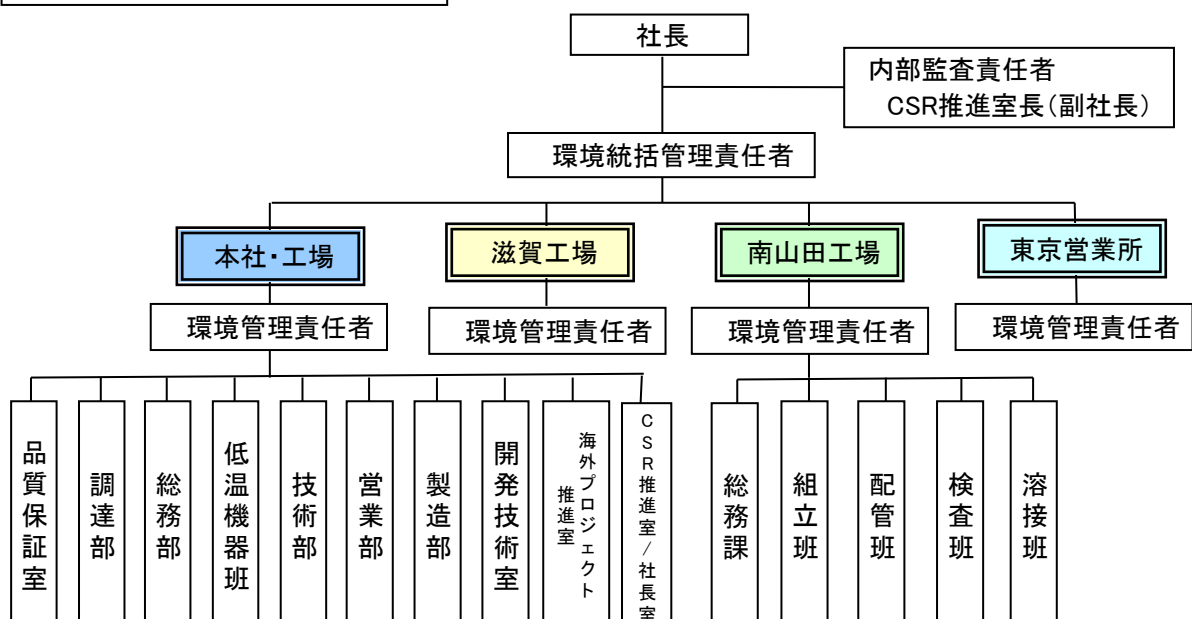
対象事業所：本社・工場、東京営業所、滋賀工場、南山田工場（全組織）

事業内容：化学機械・化学装置・燃焼装置・超低温液化ガス機器の設計・製作・販売

更新・登録日：2012年8月25日

活動期間：2013年5月～2014年4月

環境経営システム組織



事業概要

当社はアルコール蒸留装置の設計・製作を創業の原点として70年以上に亘り操業を続けており、その間、化学・食品・医薬工業界様向けにも、広く化学機械や化学プラントをご提供しています。最近では、70年の歴史によって培った設計・製造技術と豊富な経験を駆使して、バイオエタノール製造プラントや太陽光発電に供される原料製造プラントの建設などにも携わりました。また、当社独自の蒸留技術を活かした廃溶剤回収プラント、環境負荷物質の回収装置、脱臭設備などもご下命頂いており、これらの製品を通じて社会の環境改善にも貢献しております。

事業の規模 および 2013年度事業活動実績

- 1)創業 1939年
- 2)資本金 2億7千5百万円
- 3)売上高の推移

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
61.3億円	88.9億円	82.7億円	69.1億円	64.4億円	39.4億円	44.5億円



製品における環境配慮の促進

最新の技術の開発、活用に努めています [本社 技術部]

プラントは様々な装置、工作物、その他機器類の組み合わせで構成されており、エンジニアリングには多くの知識と経験が必要とされます。設計時には設備の省エネルギー化、騒音や振動に留意した機器の選定など、また、工事、試運転、メンテナンスにおいては火災事故や化学物質の漏えいなどの防止といった観点でも環境に配慮すべき事項は非常に多岐にわたります。生産性向上も資源の有効活用といえます。私たちは、常に最新の技術の開発、活用に努めています。

今年度は、燃焼装置の燃料転換についてご紹介いたします。

地球環境の保全や大気汚染防止法等により大気環境への配慮が強く要望されております。そこで当社は、サーマルオイルヒータやプロセスエアヒータ用燃焼装置を都市ガス会社殿と共に大気への負担が少ない天然ガス(LNG)への転換をご提案しております。天然ガスは、従来型ガス田の産出だけでも、確認埋蔵量が約150兆m³と世界に広く豊富に存在する上、シェールガスやメタンハイドレードを含めると莫大な埋蔵量となります。石油製品(重油・灯油)に比べ燃焼ガスがクリーンで、CO₂排出量を25%程度削減出来る事から、都市部を初め工業地帯で燃料転換が進んでいます。又、燃料転換の補助金制度(エネルギー使用合理化事業者支援補助金)があり、積極的に活用されています。

天然ガスのメリット

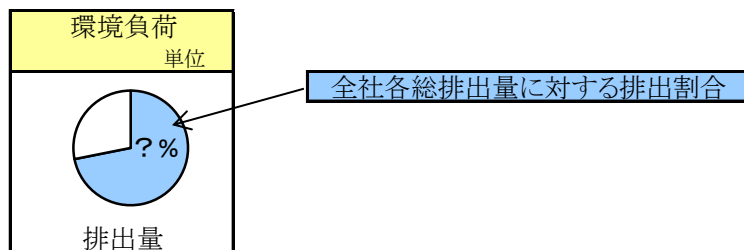
- ①排ガスがクリーンである
- ②炉内の汚れが少なく熱効率の低下が殆ど無い
- ③S分が含まれないので硫酸腐食の心配が無い
- ④基本的にパイプライン供給である為、燃料タンクや送りポンプが不要

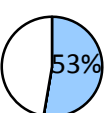
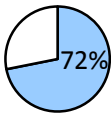
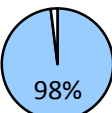
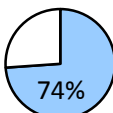
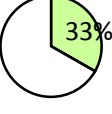
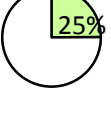
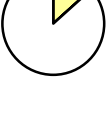
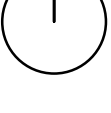
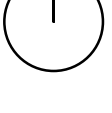
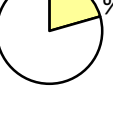
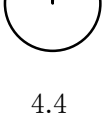
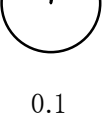
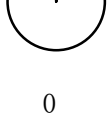
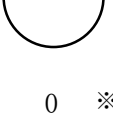
1. 主な環境負荷の実績 2013年5月～2014年4月

1-1. 各サイト別環境負荷の実績

当社の各サイトにおける環境負荷の実績及び総排出量に対する各サイトの環境負荷別の排出割合を、【図-1-1】に示します。

【図-1-1の表示内容】



環境負荷 サイト	二酸化炭素 ton	一般廃棄物 ton	産業廃棄物 ton	総排水量 m ³
本社・工場	 324.3	 2.2	 76.1	 10,355
南山田工場	 204.5	 0.8	 2.4	 776
滋賀工場※2	 82.0 ※3	 0	 0 ※2	 2,883
東京営業所	 4.4	 0.1	 0	 0 ※1
全サイト 合計	615.2 ton	3.1 ton	78.5 ton	14,014 m ³

※1 東京営業所は、賃貸事務所の制約から水使用量は把握できない。

※2 滋賀工場としては、従業員数0であるが、南山田工場従業員が作業を兼ねて管理を行っており、詳細は、P.14の3.3-4滋賀工場の項で報告する。

【図-1-1 各サイトの環境負荷】

1. 主な環境負荷の実績

2012年5月 ～2013年4月

1-2. 各環境負荷の内訳

(1) 二酸化炭素排出量

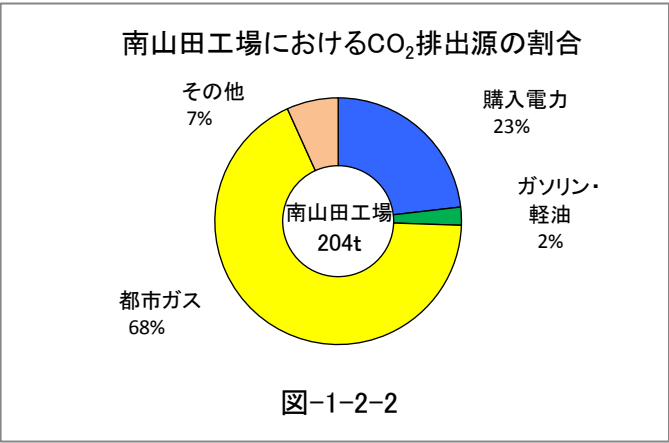
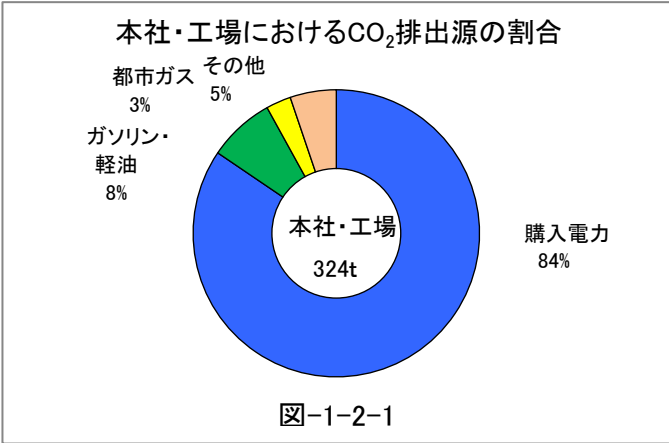


各サイトにおけるCO₂の主な排出源を、【表-1-2-1】に示します。
また、当社の二酸化炭素総排出量の53%を占める本社・工場と、33%を占める南山田工場における排出源の割合を、【図-1-2-1】及び【図-1-2-2】に示します。
本社・工場では、84%が購入電力、8%が自動車燃料であるガソリン・軽油による排出です。
南山田工場では、超低温液化ガス容器の製作過程で都市ガスを熱源とする乾燥炉を使用しているので、都市ガスによる排出が68%と多くなっています。

【表-1-2-1】 [単位:ton]

CO ₂ 排出源	本社・工場	南山田工場	滋賀工場	東京営業所	全社
購入電力 ※1	274	47	82	4	408
ガソリン・軽油	24	5	0	0	29
都市ガス	9	138	0	0	148
その他	17	14	0	0	31
合計	324	204	82	4	615

※1 CO₂排出係数: 各サイトとも 0.000378 t-CO₂/kwh



(2) 総排水量

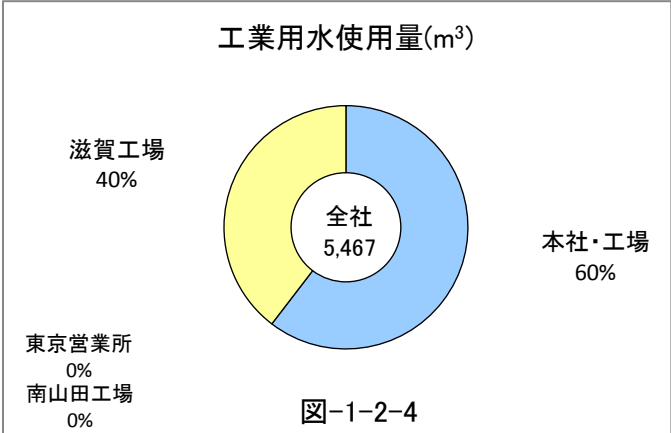
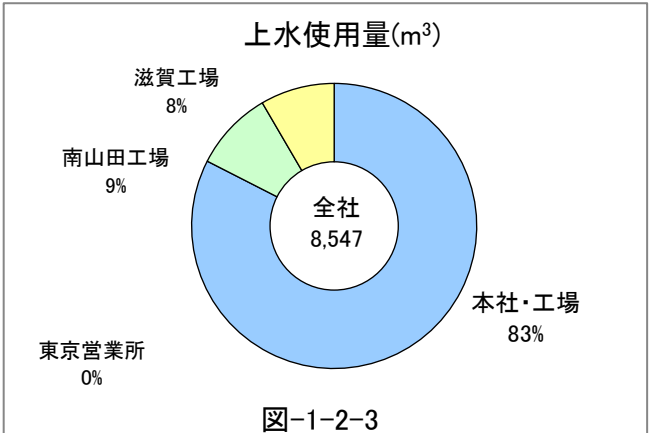


各サイトにおける排水区分ごとの実績を、【表-1-2-2】に示します。
また、総排水量に対する各サイトの排水割合を、【図-1-2-3】及び【図-1-2-4】に示します。
なお、当社の場合、使用量を排水量としています。

【表-1-2-2】 [単位:m³]

排水の区分	本社・工場	南山田工場	滋賀工場	東京営業所	全社
上水	7,052	776	719	0	8,547
工業用水	3,303	0	2,164	0	5,467
合計	10,355	776	2,883	0	14,014

※ 東京営業所は、賃貸事務所の制約から水使用量は把握できません。



1. 主な環境負荷の実績 2012年5月 ～2013年4月

(3) 廃棄物排出量

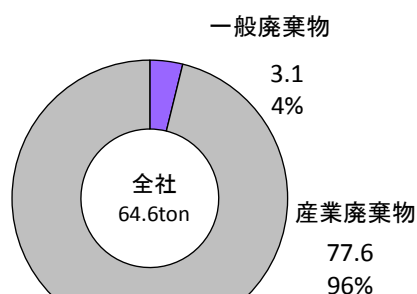
全社における一般廃棄物と産業廃棄物の排出割合を【図－1－2－5】に、各サイトごとの一般廃棄物と産業廃棄物の合計排出量を【図－1－2－6】に示します。

廃棄物総排出量の約96%は産業廃棄物であり、また、廃棄物総排出量の約97%は本社・工場から排出されています。

本社・工場における一般廃棄物と産業廃棄物の排出割合を【図－1－2－7】に、同じく本社・工場から排出される産業廃棄物の内訳を【図－1－2－8】に示します。

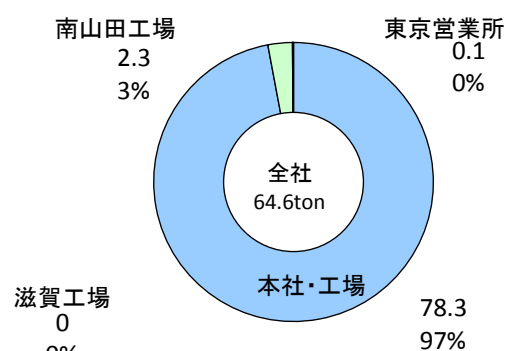
本社・工場から排出される産業廃棄物の84%が廃酸で、本社・工場で作成するステンレス製機器の洗浄工程より洗浄廃液として排出され、その99.8%は水です。

一般廃棄物と産業廃棄物の排出割合



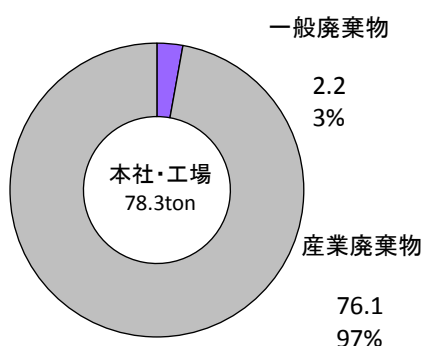
図－1－2－5

各サイトからの廃棄物の排出割合



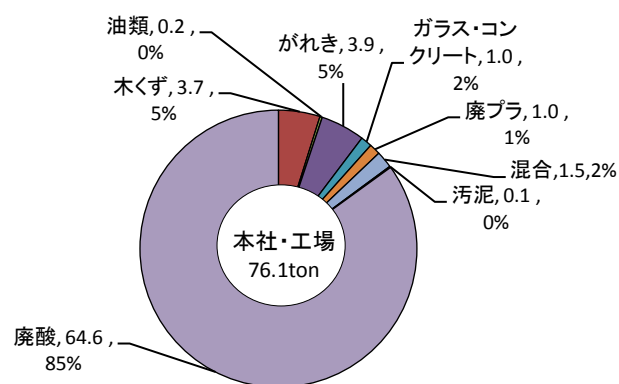
図－1－2－6

一般廃棄物と産業廃棄物の排出割合



図－1－2－7

本社・工場が排出する産業廃棄物の内訳



図－1－2－8

1. 主な環境負荷の実績 2013年5月 ～2014年4月

1-3. 主な環境負荷の推移

当社の全サイトにおける主な環境負荷の実績及び総排出量の推移を、
【図-1-3-1】～【図-1-3-4】に示します。

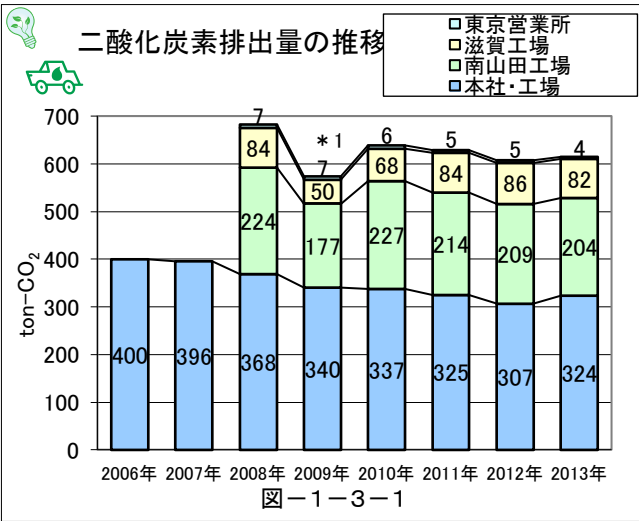
本社・工場は2008年1月より、全社としては、2010年1月から環境活動に取り組んでいます。

二酸化炭素の排出量は、2010年度から2012年度まで削減が継続できていましたが、
2013年度は若干の増加となっています。
環境の取組を開始する前の2008年と比較しますと、約10%の削減を達成しており、
取組は効果があると評価しています。

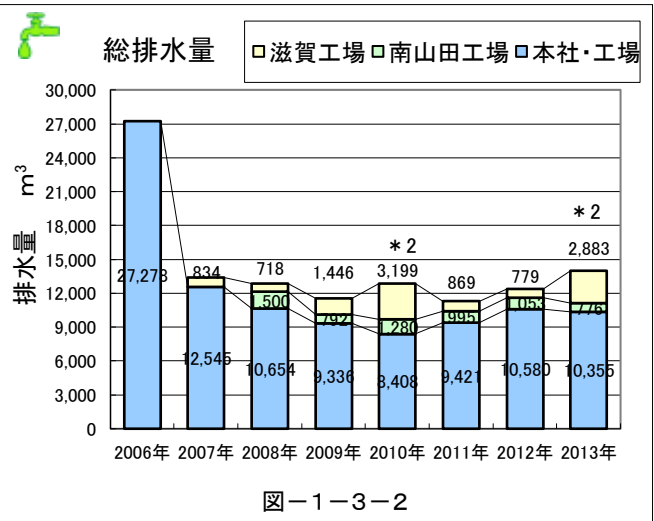
総排水量は、設備の老朽化や埋設配管からの漏えい等があり増加傾向ではありますが、
今年度、原因が判明しましたので、2014年度は削減を目指して取り組みます。

一般廃棄物量は、継続的に削減できており、従業員の意識の向上、日々の分別取組の成果であると考えています。

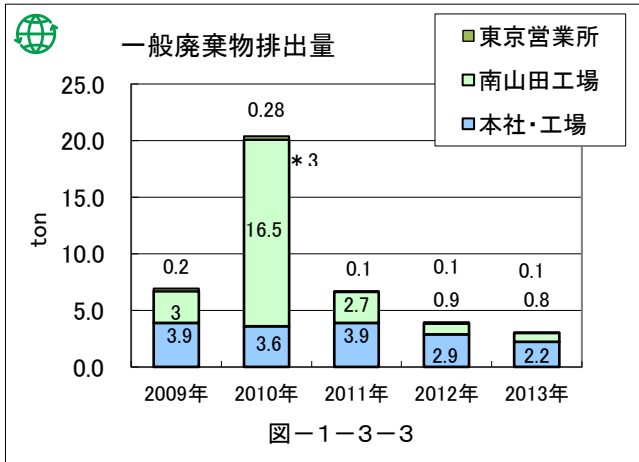
産業廃棄物は、前述(P.7)の通り、機器の洗浄で用いた酸で、製品に依存しますが、
担当者による処理装置稼働の努力により削減できていると考えています。



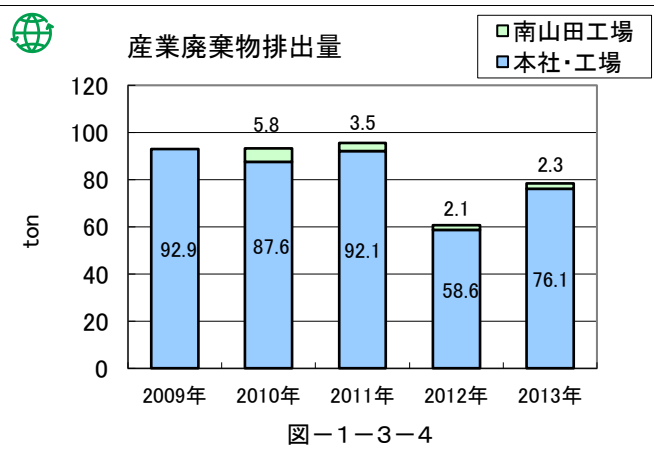
*1:2009年度は、南山田工場における生産量が少なかったです。
・2012年以前の滋賀工場は、約10%程度当社以外の負荷を含んでいます。



*2:滋賀工場の工水配管にトラブルがあり漏えい発生。
原因究明し、是正済みです。
・東京営業所は、賃貸事務所で水使用量は把握できません。



*3:EA21取組みに際し、一斉3Sを実施し遊休品等を
一括処分したため急増しました。



2. 環境目標及びその実績

2-1. 本社・工場

当社では、主な環境負荷の大半を排出する本社・工場を、環境側面における最重要サイトと位置付け、2008年1月より環境活動に取り組んでいます。

本社・工場では、【表-2-1】に掲げる項目について環境目標を設定し、活動を展開しています。

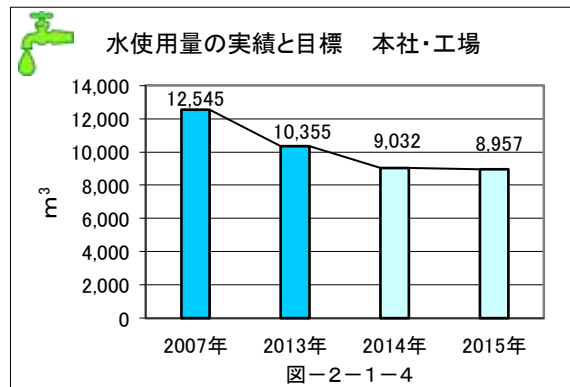
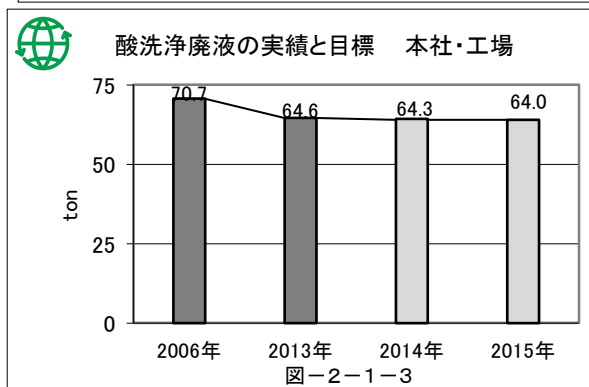
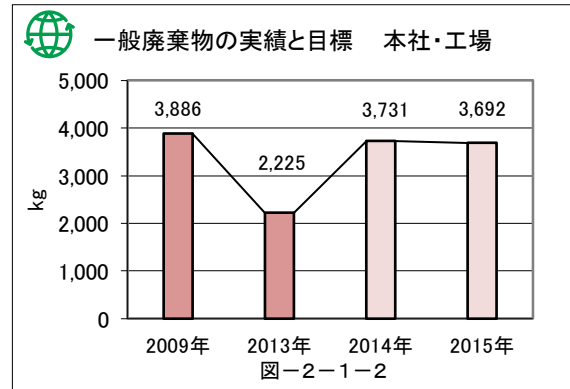
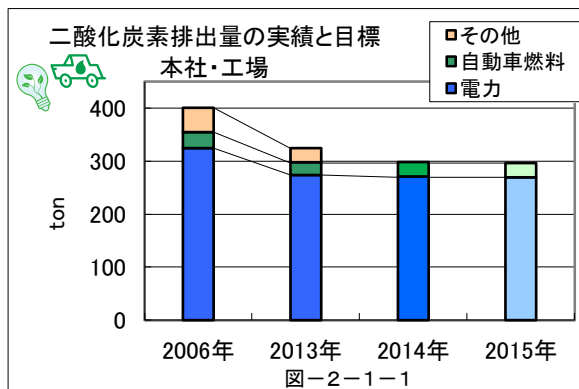
主な環境負荷の基準年度値及び今年度の実績値並びに今後2年間の目標値を【図-2-1-1】～【図-2-1-4】に示します。

【表-2-1】 本社工場の環境目標及びその実績

項 目	年 度	(基準年度) 基準値	2013年 (2013年5月～2014年4月)		2014年	2015年
			目標	実績	目標	目標
CO ₂ 削減 ^{※1} [電力]	ton-CO ₂	(2006年) 325	△16%	△15.6%	△16.5%	△17%
			272.8	274.0	271.2	269.6
CO ₂ 削減 [自動車燃料]	ton-CO ₂	(2006年) 29.9	△8%	△18.6%	△9%	△10%
			27.5	24.3	27.2	26.9
一般廃棄物削減	kg	(2009年) 3,886	△3%	△42.8%	△4%	△5%
			3,769	2,225	3,731	3,692
コピー紙使用量削減	kg	(2008年) 5,257	△6%	△6.5%	△7%	△8%
			4,942	4,909	4,889	4,836
産業廃棄物削減 [廃酸(酸洗浄廃液)]	ton	(2006年) 70.7	△8%	△8.5%	△9%	△10%
			65.0	64.6	64.3	64.0
[廃プラスチック]	kg	(2008年) 968	△10%	△1.7%	△11%	△12%
			871	984	862	852
節水	m ³	(2007年) 12,545	△27.3%	△17.5%	△28%	△29%
			9,120	10,355	9,032	8,957
化学物質使用量の削減 ^{※2}	L	(2009年) 240	△13.3%	△2%	△13.3%	△13.3%
			208	192	208	208
製品における環境配慮の促進 受注件数		(2009年) -	6件	13件	7件	8件
グリーン購入			1品目増加	ハイブリッド車2台更新	1品目増加	1品目増加

※1 本社・工場では、総排出量の84%が電力、8%が自動車燃料(ガソリン+軽油)につき、これらについて削減目標を設定しています。

※2 当社には、化学物質を原料とする製品はありません。



2. 環境目標及びその実績

2-2. 南山田工場

本社・工場に次いで環境負荷の大きい南山田工場では、2010年1月より環境活動に取り組んでいます。

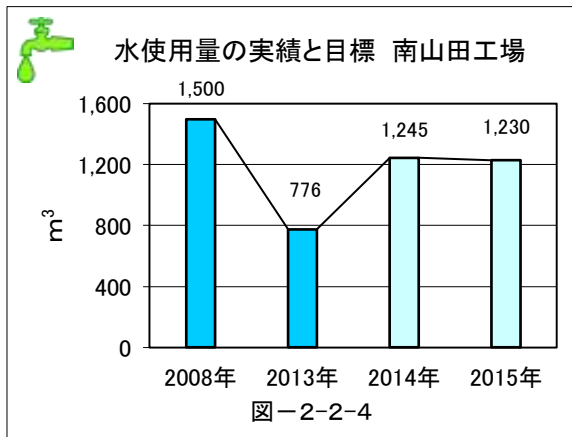
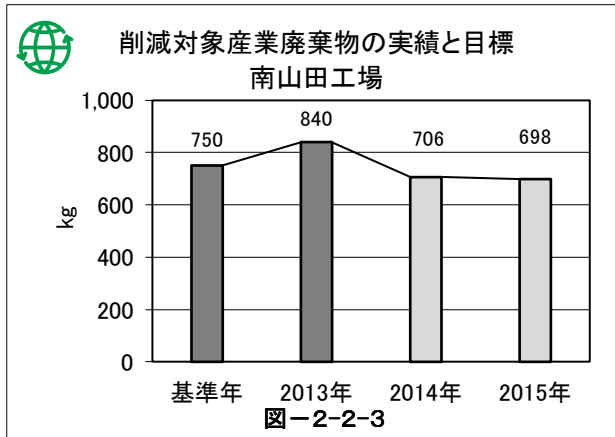
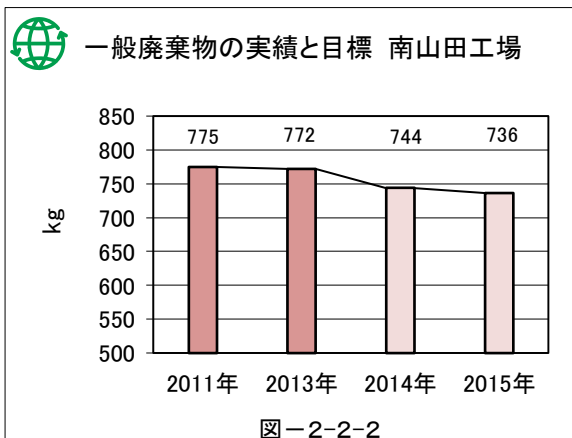
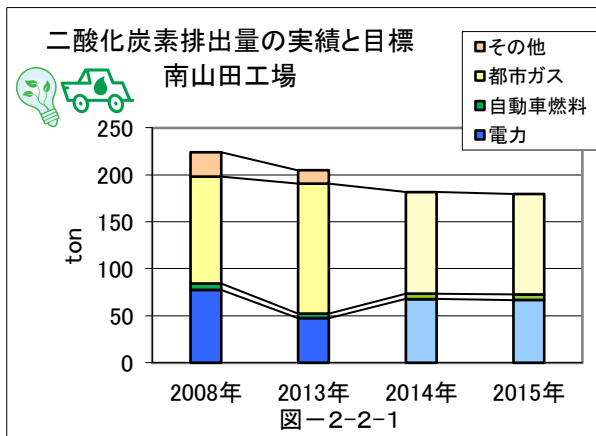
【表-2-2】に掲げる項目について環境目標を設定し、活動を展開しています。主な環境負荷の基準年度値及び今年度の実績値並びに今後2年間の目標値を【図-2-2-1】～【図-2-2-4】に示します。

【表-2-2】 南山田工場の環境目標及びその実績

項 目	年 度	(基準年度) 基準値	2013年 (2013年5月～2014年4月)		2014年	2015年
			目標	実績	目標	目標
CO ₂ 削減 [電力]	ton-CO ₂	(2008年) 77.7	△12%	△31%	△13%	△14%
CO ₂ 削減 [自動車燃料]	ton-CO ₂	(2008年) 6.3	△6%	△13%	△7%	△8%
CO ₂ 削減 [都市ガス]	ton-CO ₂	(2008年) 113.7	△4%	+22%	△5%	△6%
一般廃棄物削減	kg	(2011年) 775	△3%	0%	△4%	△5%
コピー紙使用量削減	kg	(2008年) 301	△12%	△33%	△13%	△14%
産業廃棄物削減 [廃プラスチック]	kg	(2011年) 48.3	△4%	△70%	△5%	△6%
[酸洗浄廃液※ ¹]	t	(2011年) 166.3	△3%	△9%	△4%	△5%
[混合産業廃棄物]	kg	(2010年※ ²) 702	△5%	+18%	△6%	△7%
節水	m ³	(2008年) 1,500	△15%	△30%	△17%	△18%
化学物質管理の徹底		使用状況と保管のチェック 使用溶剤の見直し				
製品における環境配慮の促進		梱包・包装簡素化への取組				

※1 酸洗浄廃液は社内施設で無害化处理していますので、最終的には汚泥が産業廃棄物となります。

※2 2010年度基準値は、実績値の是正により算出



*削減目標を掲げている産業廃棄物のうち廃プラと混合について10/20記載しています。

3. 環境活動の結果と評価、次年度の取組

3-1. 本社・工場

勝率(目標達成率) 0.7 7勝3敗 (10項目中 3項目未達)

主な取組み計画				達成状況		評価(結果と今後の取組み)	
二酸化炭素排出量削減	1	電力の削減 ・不要照明の消灯 ・空調設備の点検 ・デマンド監視システム運用 ・待機電力の削減 ・設備の空運転削減 ・クール/ウォームビズ推進 ・太陽光発電の安定運転 ・省エネ家電・電気機器への更新 ・エレベーターの使用を控える(新社屋) ・節電の徹底/新社屋比較		○ ○ ◎ ○ ○ ○ ◎ ○ ○ ○	基準値	324.8 ton-CO ₂	目標未達成
					目標値	272.8 ton-CO ₂	2007年度に活動開始後、継続して目標を達成してきたが、目標の16%には届かず、今年度初めて目標未達成となった。 15.7%の削減は、日々の節電、環境に配慮した新社屋への移動により、空調の効率が高まった事、デマンド監視システムの運用、太陽光発電の増設、工場照明の省エネ化、省エネ機器へ更新などの計画的かつ積極的な設備投資が大きく寄与しているが、冬場の電気使用量が増加している事から更なる節電に努める。
					削減比	-16.0%	
					実績値	274.0 ton-CO ₂	
					削減比	-15.7%	
					-	-	
					-	-	
					-	-	
					-	-	
					2	自動車燃料の削減 ・エコドライブ運動展開 ・車両定期点検の実施 ・公共機関の利用促進 ・電気自動車の有効活用 ・ハイブリッド車への更新	
	目標値	27.5 ton-CO ₂	活動開始後から連続して目標を達成している。本年度も低燃費車へ2台切替え、積極的な投資を行っている。また、社員の日常の取組みと評価。取組み事項は適切であり、今後も目標達成に向けて取組む。				
	削減比	-8%					
	実績値	24.3 ton-CO ₂					
	廃棄物排出量削減	1	一般廃棄物の削減とリサイクルの促進 ・分別回収促進(シール掲示) ・消耗品等適正保管・使用の励行 ・機密文書の再生処理化 ・部内個人ゴミ箱の削減		○ ○ ○ ○ ○	基準値	3,886 kg
目標値						3,769 kg	リサイクル可能な紙類の分別が促進され、本年度は大きく目標を達成できた。引き続き、徹底していく。
削減比						-3%	
実績値						2,225	
削減比						-43%	
2		コピー紙の使用量削減 ・再生紙利用の明示化 ・プロジェクターによるペーパーレス化 ・スキャナー・PDFの有効利用 ・両面印刷の推進		○ ○ ○ ○	基準値	5,257 kg	目標達成
					目標値	4,942 kg	コピー紙削減については、継続的な取組みが評価できる。
					削減比	-6%	
					実績値	4,909 kg	
3		廃プラスチック ・分別回収によるリサイクル化促進 ・使い捨て製品の使用や購入を抑制 ・溶接棒包装のリサイクル化 ・業務外PETボトル廃棄禁止		△ △ ○ ○	基準値	968 kg	目標未達成
					目標値	871 kg	一般廃棄物の分別強化に伴い増加しており、目標の設定の適正を含め見直しを図る。
					削減比	-10%	
					実績値	984 kg	
					削減比	1.7%	

取組み手段ごとの評価: ◎: 十分成果があった ○: 概ね成果があった △: 一部未達 ×: 未達

3. 環境活動の結果と評価、次年度の取組

3-1. 本社・工場

勝率(目標達成率) 0.7 7勝3敗 (10項目中 3項目未達)

主な取組み計画				達成状況		評価(結果と今後の取組み)
廃棄物排出量削減	4	産業廃棄物の削減とリサイクルの促進  酸洗浄廃液の削減 ・適正使用の励行(過剰使用の抑制) ・酸洗浄対象機器の仕様見直 ・酸洗廃液処理実施 ・廃液再利用法の検討	○ △ ○ ○	基準値	70.7 ton	目標達成 受注機器の仕様に依存する度合いが高いが、取組み事項の着実な推進と、担当者による処理装置稼働の努力もあり、目標を達成できた。
				目標値	65.0 ton	
				削減比	-8%	
				実績値	64.6 ton	
				削減比	-9%	
節水	1	水道水・工業用水の削減  ・小まめな節水運動 ・給水設備の保守点検 ・配管の定期監視 ・大量消費用途の改善 ・テスト用水の再利用化計画	○ ○ △ △ △	基準値	12,545 m ³	目標未達成 昨年度より工業用水の使用量が多く、原因を調査していたが、ようやく原因を把握できた。来期は達成に向けて取り組む。
				目標値	9,120 m ³	
				削減比	-27.3%	
				実績値	10,355 m ³	
				削減比	-17%	
化学物質の削減・管理	1	化学物質の削減・管理  ・化学物質管理者会議の設置と運営 ・使用化学物質の把握・記録・管理 ・パトロールの実施 ・排水等の測定・監視 ・漏えい事故時の対策・訓練実施 ・汚染防止のための作業改善 ・リスクアセスメントの実施を全社展開	○ ○ ○ ○ △ ○ ○	基準値	240 L	目標達成 当社は業態上、取扱う化学物質は少ないが、製品製作段階で付着する油脂除去のため使用するシンナーを、削減目標として設定した。受注機器の仕様に依存する度合いが高いが、管理なども定着し、着実に実施でき、成果は得られていると評価する。
				目標値	208 L	
				削減比	-13.3%	
				実績値	192 L	
				削減比	-20%	
環境に資する製品	1	製品における環境配慮推進  ・『環境配慮スコア表』運用継続 (設計時、施工時における環境配慮) ・省エネ設計推進 ・発明考案表彰の省エネ設計推奨 ・環境機器の拡販	○ ○ ○ ○	拡販		目標達成 当社製品・技術での貢献として、当社の環境関連機器の受注件数を目標に掲げ取り組んでいる。引き続き、当社製品での社会貢献を目指して推進する。
				目標値	6件	
				実績値	13件	
グリーン購入	1	グリーン購入  ・事務用品のグリーン調達	○	都度実施 低燃費車(ハイブリッド車)に更新		目標達成 グリーン調達は、対応可能な物品から積極的に取り組んでいる。本年度は低燃費車(ハイブリッド車)を2台更新し、全数の60%に達した。今後も随時グリーン調達を継続

取組み手段ごとの評価: ◎:十分成果があった ○:概ね成果があった △:一部未達 ×:未達

3. 環境活動の結果と評価、次年度の取組

3-2. 南山田工場

勝率(目標達成率)0.67 6勝3敗 (9項目中 3項目未達)

主な取組み計画				達成状況		評価(結果と今後の取組み)
二酸化炭素排出量削減	1	電力の削減 ・節電活動展開の徹底 ・待機電力の削減 ・設備の空運転削減	 ◎ ○ ○	基準値	77.7 ton-CO ₂	目標達成
				目標値	68.4 ton-CO ₂	デマンド監視装置を設置し見える化が有効的で、社員の節電対策及び意識が進み基準年の約40%まで削減を達成できた。次年度も引き続き削減を行う。
				削減比	-12%	
				実績値	47.4 ton-CO ₂	
	2	自動車燃料の削減 ・エコドライブ運動の展開 ・乗り合せ運動の展開(人・物) ・車検定期点検の実施	 ○ ◎ ◎	基準値	6.3 ton-CO ₂	目標達成
				目標値	5.9 ton-CO ₂	声掛け運動を行い、移動時の乗り合わせを推進したことで、基準年度比23%を達成する事ができ、取り組みは有効であり、継続する。
				削減比	-6%	
				実績値	4.8 ton-CO ₂	
	3	都市ガスの削減 ・真空乾燥炉稼働燃費向上 (月初工程会議の徹底) ・ガスバーナー保守点検の実施 ・炉熱風出入りダクトデータ収集	 △ ○ △ ○	基準値	113.7 ton-CO ₂	目標未達成
				目標値	109.1 ton-CO ₂	生産量に伴いガス使用量が増加したが、特に冬期の稼働率、燃費向上に努める。
				削減比	-4%	
				実績値	138.5 ton-CO ₂	
廃棄物排出量削減	1	一般廃棄物の削減とリサイクルの促進 ・分別回収の徹底 ・発泡スチロール・プラスチック分別回収徹底 ・リサイクル先の開拓	 ○ ○ ○ ○	基準値	775 kg	目標未達成
				目標値	752 kg	梱包木屑はリサイクル先を開拓し、廃棄物全体としては大きく削減できたが、3S徹底のため目標未達となった。今後仕入れの過剰包装を減らす取り組みを行っていく。
				削減比	-3%	
				実績値	772 kg	
	2	コピー紙の使用量削減 ・社内文書の裏面使用・両面コピーの徹底 ・再生紙利用の促進	◎ ○ ○	基準値	301 kg	目標達成
				目標値	265 kg	社員の意識向上により社内使用コピー用紙の裏紙使用が促進され、基準年の33%削減を達成できた。引き続き推進していく。
				削減比	-12%	
				実績値	201 kg	
	3	廃プラスチック ・分別の徹底 ・リサイクルの徹底	○ △	基準値	48 kg	目標達成
				目標値	46 kg	分別回収を徹底し、リサイクル先を開拓したことで、大幅に達成できた。
				削減比	-4%	
				実績値	14.5 kg	
				削減比	-70%	

取組み手段ごとの評価: ◎:十分成果があった ○:概ね成果があった △:一部未達 ×:未達

3. 環境活動の結果と評価、次年度の取組

3-2. 南山田工場

勝率(目標達成率)0.67 6勝3敗 (9項目中 3項目未達)

主な取組み計画				達成状況		評価(結果と今後の取組み)
廃棄物 排出量 削減	4	酸洗浄廃液 ・処理設備の保全・管理 * 酸洗浄廃液は社内設備で無害化しています	 ○	基準値	166 t	目標達成 酸洗浄廃液は、社内の排水処理設備にて処理後放流し、汚泥が産業廃棄物となる。今年度は目標を達成でき、引き続き取り組みを継続する。
				目標値	161 t	
				削減比	-3%	
				実績値	151 t	
	5	産業廃棄物 ・集積場所の見直し ・分別回収によるリサイクル化促進	○ △ ○ ○	基準値	702 kg	目標未達成 廃油はリサイクル先を開拓でき、廃棄物削減に大きく貢献できた。また、分別も推進されており、現施策を継続する。
				目標値	667 kg	
				削減比	-5%	
				実績値	825 kg	
				増加比	18%	
節水	1	水道水・工業用水の削減 ・節水運動の呼びかけ ・溶接機冷却水設備の点検	 ◎ ◎	基準値	1,500 m ³	目標達成 節水に努め、冬期の凍結による配管割れ防止にも考慮した。節電と同様、基準年の約30%まで削減を達成でき、取り組みは有効であり継続する。
				目標値	1,275 m ³	
				削減比	-15%	
				実績値	776 m ³	
				削減比	-48%	

取組み手段ごとの評価: ◎:十分成果があった ○:概ね成果があった △:一部未達 ×:未達

3-3. 東京営業所



勝率(目標達成率)1.00 2勝0敗 (2項目中 未達なし)

所員6名の小さな所帯ですが、全サイトにおける環境活動の展開方針に基づき、廃棄物とコピー紙の削減を活動項目に設定して、所員全員で取り組んでいます。今年度の達成状況は2勝0敗です。

3-4. 滋賀工場

滋賀工場としての従業員数は0ですが、南山田工場従業員が毎日の作業を兼ねて管理を行っており、支援と協力を得ながら、環境管理責任者が、環境側面での施設管理等を行なっています。また、スポット的に本工場を使用する者に対して、環境活動についての教育、指導を行なっています。

滋賀工場の電気使用量が、活動初期よりも増加傾向にあり、使用内訳の調査を行いました。

①南山田工場所有の 資材等の仮置き及び真空加熱炉稼働。

②一時的な開発機器等の実験等での使用。

③部分的にレンタル工場として活用。

④本社予備サーバー・空調、冷蔵庫、その他共有部分の設備(シャッター、事務所)等

上記4分類でき、個別の測定機の設置により使用量の測定を開始しました。

③は、約10%である事が確認できました。当社の負荷ではないため、明らかな部分(7月～翌4月)は実績値から差し引きました。推測による差し引きは行っていません。(5・6月分)

①は、当社負荷以外である③分を差し引いた内の約70%である事が把握でき、南山田分として取組を開始しました。来年度から、①項は、南山田分として報告します。

4. トピックス

活動の一部を写真でご紹介します。



二酸化炭素削減



津波避難ビルに登録した新社屋



COOL & WARM BIZ 環境活動は日々の積み重ね



[照明スイッチの細分化]



[新社屋屋上に太陽光発電23KW増設][太陽光発電10KWを設置]



[人感センサー付照明の採用]



[デマンド監視装置導入]
電力使用の見える化



[受変電設備改修]
トップランナー機器へ



グリーン購入



エコドライブ



[最新の環境適合フォークリフトに更新]



[低燃費車に切り替え・今年度2台]



省資源・地域貢献・教育・生物多様化(緑化・保全)



[プロジェクタ常設で紙資料削減]



本社・工場
クリーンUP作戦(大阪マラソン地域清掃)



環境事務局員が分担して社内報に
環境関連記事を投稿しています。
2013年4月に77号となりました。



[緊急事態 全社防災避難訓練の実施]
AEDを常設しています



[エコキャップ回収参加]
ワクチン寄付

5. 代表者の見直し

年度末に、社長に「代表者の見直し」として、環境管理責任者から【表-5】の各情報をインプットし、同表に記載するアウトプットがありました。アウトプットのあった各事項は、2014年度活動に反映しています。

【表-5】代表者の見直し

インプット情報		
インプット事項	概要	管理責任者の提案等
システム運用に係る評価	環境への取組みの自己チェックでは、'07年の開始時195/524(37%)が、今年度末では390/492(79.3%)へと着実に改善しておりシステムは有効に機能している。	1. 環境方針 現方針を堅持する。
環境目標・計画の達成状況	本レポート該当項目記載どおり	2. 環境目標・計画 1) 電力リスクを低減するため、安全衛生には最大限の配慮をしつつ、節電を強力に進める。
環境関連法規等の順守状況	本レポート該当項目記載どおり	2) 中期経営計画と連動して、当社の製品・技術による環境面での社会貢献を確実に推進する。
是正及び予防処置の状況	3か月連続して各月の目標未達項目の推進責任者には、是正処置指示書を発行もしくは是正策を求め挽回に努めた。また全社的に各面でのリスクアセスメントを実施し、予防に努めた。	3. システムの各要素 ISO9001との類似システムについては統合化等を推進し、システムのスリム化及び運用の迅速化並びにリスクマネジメントへの反映を図る。また、外部機関との連携を強化する。
内部監査の結果	今年度もCSR監査の一環として、環境活動の重要性及び各自の役割についての認識をテーマに監査した結果、概ね良好であることを確認した。	
周囲の変化の状況	原子力発電所の稼働停止に起因し、引き続き電力事情が逼迫。 / 大阪市の紙リサイクル強化に伴い、プラスチックの分別も強化された。	



代表者のアウトプット
1. 環境方針 現在の方針を継続強化する。 2. 環境目標・活動計画 1) 創意工夫による更なる環境対応の考案と実行 2) 環境配慮設計の追求。 3. システムの各要素 1) ISO等の他活動と連携、効率性・有効性を高める。 2) 環境対応企業として市場から認知・評価される会社を目指す。

6. 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

※東京営業所は全て該当せず

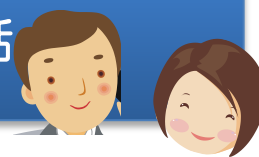
適用される法規制	適用される施設、毎年必要な報告等	本社・工場	南山田工場	滋賀工場
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物、産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○	○	○
騒音・振動規制法	ベンディングマシン、空気圧縮機、送風機、機械プレス等	○	○	該当せず
消防法	少量危険物取扱所、屋内貯蔵所、地下タンク貯蔵所	○	○	○
下水道法	酸による表面処理施設	○	○	該当せず
高圧ガス保安法	液化窒素貯槽、高圧ガス容器貯蔵所	○	○	該当せず
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則、粉じん障害防止規則に係る作業	○	○	該当せず
電気事業法	自家用電気工作物	○	○	○
PCB特別措置法	PCB含有コンデンサ(微量含有は環産産発第040217005号による)	微量○	該当せず	○

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。



7. 創業75周年特別企画：お父さん・お母さんの会社のお話



ねえ！ねえ！お父さんの会社ってどんな会社なの？

いもうと
えこ
恵子

あね
きょうこ
境子



お父さんの会社はね、プラントエンジニアリングといって、工場の設備を造っているんだよ。

身の回りには色々なものがあるだろう？

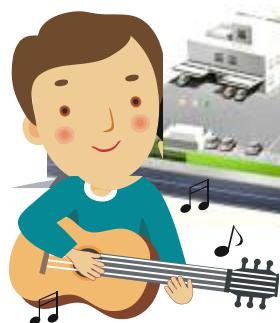
机、洋服、食べもの、文房具・・・

それらを造るためには、もともになる材料を

混ぜたり、温めたり、分けたり、乾かしたり

色々としなければいけなくて、そのための機器や

機械をどれがいいのか選んで組み合わせるんだよ。

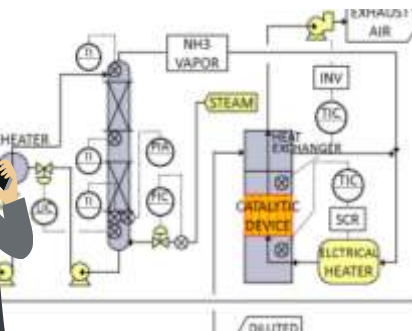


世界に一つだけだったり、初めての機器やプラントを造る事が多いから、何度も何度も

お客さんと話し合っ、種類、大きさ、数、場所を決めていくんだ。

これが設計（エンジニアリング）だよ。

そして、図面と呼ばれるものに決めた事を書き込んでいく・・・そう音楽なら楽譜だね。



お父さんの会社は機器を造るための工場も持っているんだよ。紙ならハサミとノリで作れるけれど、
堅い金属で造るから、切ったり、曲げたり、ひっ付けたり、運んだりするにも、
大きな専用の機械がいるんだ。



大きな機械を動かすには、たくさんの電気がいるんだよ。大きな音もするしね。
機器を造る時も、お客さんに使っていただく時も、周りに迷惑をかけないように、
気を配らないといけない。材料だって無限にある訳じゃないしね。
電気も、水も大切に使わなきゃいけないから『環境活動』に取り組んでいるんだよ。



かんきょう かつどう こと
環境活動ってどんな事をしているの？



でんき たいせつ つか
電気を大切に使う

お昼休みには、照明を消すことになってるよ。誰もいないところもだね。

小さな事だけど、毎日みんなで続けることが大事なんだ。

夏は無理をすると熱中症になって危ないから、冷房を付けるけれど、温度を28度にしてるんだ。



きょうこ えこ がっこう せんせい はなし
境子、恵子の学校ではどうだい？先生からお話があったりするのかな？

そう、目標といって、1年の初めにどれだけ減らそうとか

増やそうとかいった事を決めて、どうしたらできるか考えて活動するんだ。

この夏は、クロールで25メートル泳げるようになるぞ！

そうだ、息つぎの練習をしよう！みたいな感じだね。





クリーンな電気を使う



電気をつくるために、色々な発電の方法があるのだけれど、
環境への負担が少ないものをクリーンエネルギーと呼んでるよ。
夏のお昼間は電気が足りない状態なんだ。

太陽の光はすごく大きなエネルギーで、その有効活用が注目されているんだ。

本社の新しい建物（新社屋）の屋上と工場の屋根に太陽光パネルを付けて発電しているんだよ。



ガソリンの使用量を減らす・エコドライブ

急に車を発進したり、停車すると、危ないよね。

しかも、燃費（ガソリン1リットルで走れる距離）も悪くなるんだ。

いらぬ荷物を載せないようにしたり、カーナビを使って渋滞していない道を
選ぶ事でもエコドライブになってガソリンの使用量を減らす事ができるんだ。



そう、会社の車の半分以上は、ハイブリッド車・電気自動車っていう

環境に優しい車に乗り換えたんだよ！



ゴミを減らす・くりかえし使う

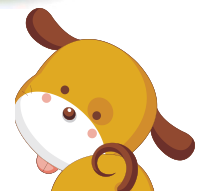
会議で書類をたくさん配ったりしないで済むように、プロジェクター

っていう大きなテレビみたいなものに映して、皆で見る様に

したり、両面に印刷をして、紙をたくさん使わないようにしているんだ。

使ってしまった紙類はまた新しい紙に再生されるんだ。

そのためには、燃やすしかないゴミとちゃんと分けなきゃいけないよね。



その他にもこんな事にも気を付けているんだ。



みず たいせつ つか
水は大切に使う



かんきょう やさ か つか
環境に優しいものを買って使う



かがく ぶっしつ しょうりょう へ
化学物質の使用量を減らす



かんきょう こと かんが せいひん
環境の事を考えた製品をつくる



ちいき こうけん
地域貢献



まわ ひと たいせつ
周りの人を大切にする

せいぶつたようせい
生物多様性

いっしょ い
一緒に生きる



かいしゃ は、よ なか ひと よろこ あんぜん せいひん
会社は、世の中の人が喜んでくれる安全な製品を
つく 作らなきゃいけないけど、それ以外にも大切な事が
いっぱいあるんだ。



まいとし あき おおさか
毎年秋に、大阪マラソンがあって、その前に

かいしゃ にわ ちょう ことり あそ きてるよ
会社のお庭に蝶や小鳥が遊びに来てるよ

みんな どうろ こうえん そうじ
皆で道路や公園を掃除しよう という行事があるんだ。



とう かいしゃ さんか かぞく いっしょ ひと
お父さんの会社もそれに参加していて、家族と一緒にきている人もいるんだ。

かいしゃ しきち なか かだん はたけ つく なつ あつ う
会社の敷地の中に花壇や畑を作っていて、夏の暑さよけに植えているさつまいもを
ほ 掘ったりするから、子供たちも楽しめるし、境子と恵子も一緒に行かないかい？



とう お父さんは、仕事を通して、境子、恵子そして未来の子供たちに、
あお そら うみ のこ がんば
青い空と海を残せるように頑張るよ！

しゃちょう はなし
社長からのお話

わたし あお うみ だいす
私も青い海が大好きです。

みな かぞく ともだち いっしょ たの しぜん ふ あ
皆さんが家族やお友達と一緒に楽しく、自然に触れ合える

けいけん たくさん できる とい いな。 と思 っています。

みな ささ いっしょけんめい はたら とう かあ
皆さんを支え、一所懸命働いているお父さんとお母さんを

おうえん
応援してあげてください。

たかはししゃちょう
高橋社長

